

「好酸球性食道炎における epidermal differentiation complex protein の役割に関する研究」

1. 研究の目的

消化管アレルギー疾患の一つである好酸球性食道炎における epidermal differentiation complex protein の役割を明らかにして、それらを用いて好酸球性食道炎の診断の確実性を高めることを目的に行います。

2. 研究の方法

1) 対象となる患者さん

平成 17 年 4 月から平成 27 年 10 月までに内視鏡検査を受け食道粘膜の生検をされたことのある好酸球性食道炎（20 名）、または食道、咽頭、舌、皮膚腫瘍と診断され手術をうけたことのある患者さん（それぞれ 20 名）を対象とします。

2) 研究方法

過去のカルテの記録（基本情報、症状、治療歴、血液検査、内視鏡所見、病理組織所見）をデータとして使用し、病理組織標本の免疫染色を行います。なお、個人情報には十分保護されます。

3) 研究期間

島根大学医学部医の倫理委員会承認後から平成 30 年 7 月まで

3. 個人情報の保護について

本研究を通じて、お名前、住所、カルテ番号などが外部に伝わることはありません。私たちは、あなたの個人情報の保護には十分配慮し、法令を遵守いたしますのでご安心ください。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

また、研究に参加を希望されない場合は遠慮なく下記の連絡先までお申し出ください。

この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

研究責任者：島根大学医学部附属病院 消化器内科 助教 大嶋 直樹

連絡先：島根大学医学部内科学第二

電話：0853-20-2190 ファックス：0853-20-2187